

# 日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター  
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

2015.4 第25号



高原山（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（放射線科）	2
診療紹介（糖尿病・内分泌内科）	2
外来担当医一覧	4
DMAT研修参加報告／旬を食べよう	5
病院への手紙／求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

## ▶ 放射線科

### 【診療内容】

放射線科では診療ベットを持たず、もっぱら他科からの依頼で診療を行っています。放射線科は三つの部門(画像診断、治療、核医学)から成りますが、当院は画像診断部門(IVR併設)があります。医療領域でフィルムになるような物は、磁気や超音波など放射線を用いないものでも、何でも診断するのが画像診断医の仕事です。

### 【画像診断】

CT、MRIを始めとした検査画像の報告書を付けること。「読影」とも言います)を放射線科専門医の立場から行っています。一つの検査に対して、主治医と放射線科医の二つの読影結果が出ることで、診療精度の向上が得られます。また、主治医の専門外の疾患があった場合の拾い上げにも役立っています。読影は、脳、肺、腹部、四肢など部位に限らず全身で行っています。

### 【検査計画の立案】

依頼されたCT、MRI検査に対し、疾患からみた最適な検査方法・手順を専門医の視点から指示します。検査は放射線技師と看護師の協力のもと行われています。

### 【検査】

医師が自ら行う検査としては、消化管造影や血管造影があります。

### 【検査・治療(IVR)】

IVR(アイ・ブイ・アール)は聞きなれない言葉ですが、カテーテルを用いた血管内からの治療のことで、「画像下治療」「血管内治療」などとも言います。IVR学会の専門医資格を有しており、心臓と脳以外の、血管を経由した治療を提供しています。

- 肝臓癌の動注、塞栓療法(TACE)
- 咯血(肺結核癒痕からの出血など)の塞栓療法(BAE)
- 静脈血栓症に対するフィルター留置
- 肝硬変の静脈瘤に対する血管内からの硬化療法(BRTO)
- 血管内異物回収
- 四肢の血管狭窄に対する拡張術(PTA・STENT)
- 内分泌疾患に対する特殊検査(選択的静脈血採血など)

放射線科は医師 1人、放射線技師 11人、受付事務2人および、看護師(放射線内視鏡部) 8人、看護助手1人の所帯です。全員で、良い検査、良い治療、良い看護を目指して頑張っています。

## ▶ 糖尿病・内分泌内科

### 【特徴・特色】

当科では糖尿病および甲状腺などの内分泌疾患について診療を行っております。

健康診断で糖尿病(血糖高値、尿糖)、高脂血症、肥満、甲状腺腫大などを指摘された方は受診ください。

2013年10月より糖尿病腎症の方に透析予防指導を始めました。

**【おもな症状】**

**糖尿病**：のどが乾き、尿がたくさん出て、これらの症状とともに体重が減少してきた方。

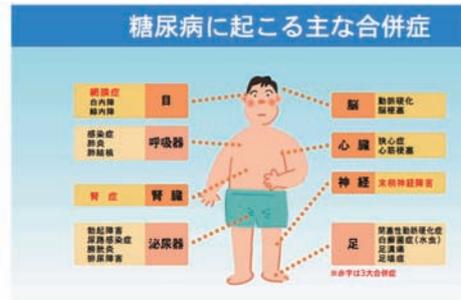
**甲状腺**：脈拍数が多い・汗をかき易い・手がふるえるなどの症状とともに体重が減少した方、また逆に体重が増えて疲れ易い・気力がない・寒がり・声がかすれるなどの症状がある方。検診や人間ドックにて、甲状腺腫といわれた方。

**その他**：他病院で内分泌疾患を指摘または疑われた方。

**【おもな対象疾患】**

**糖尿病・高脂血症・肥満**

**甲状腺疾患**



**その他内分泌疾患**

下垂体疾患・副腎疾患・副甲状腺疾患・高血圧症・その他（性腺疾患など）

**【特殊検査・治療】**

**フットケア外来**：月・火の2回/月 ：糖尿病足病変の早期ケア

糖尿病の患者さんで、かかとの肥厚・タコ・爪の変形などがある方



**糖尿病腎症**：透析予防指導

**持続血糖測定**：iPro2使用による：深夜の低血糖が心配な方、血糖の日内変動の確認など



**持続インスリン注入療法 (CSII)**



**下肢血流検査 (ABI)**：随時

**頸動脈エコー**：随時

**甲状腺エコー下吸引細胞診**：火曜午後

**【外来担当表】**

	月	火	水	木	金	土
外来担当	伴 場	中 谷	伴 場	宮 下	中 谷	中 谷/伴 場
フットケア	1 回/月	1 回/月				
甲状腺細胞診		午後				

外来担当医一覧

獨協医科大学日光医療センター 外来担当医一覧

平成27年4月1日現在

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器内科	*1.2 原澤 寛教授 *1.2 戸田正夫教授 <small>(即前科外系「フレッキー外来」)</small>	原澤 寛教授 戸田正夫教授	原澤 寛教授 戸田正夫教授	原澤 寛教授 戸田正夫教授 <small>(即前科外系「フレッキー外来」)</small>	戸田正夫教授 原澤 寛教授	戸田正夫教授(第1,3,5) <small>(即前科外系「フレッキー外来」)</small>	小原一記医師 小原一記医師	小原一記医師 小原一記医師	原澤 寛教授 戸田正夫教授	原澤 寛教授(第2,5) 戸田正夫教授(第1,4)	(交代担当)	
消化器内科	*1 眞島雄一医師 *2 櫻井紘子医師	眞島雄一医師 井澤直哉医師	村岡瑠以子医師 井澤直哉医師	井澤直哉医師 非常勤医師	井澤直哉医師	眞島雄一医師	眞島雄一医師	櫻井紘子医師 非常勤医師	櫻井紘子医師	村岡瑠以子医師		
	*1 非常勤医師(諏訪秀明)		中元隆明教授	中元隆明教授	中元隆明教授	中元隆明教授	下山 正博講師 【腎臓外来】	中元隆明教授	中元隆明教授(第2) 安 隆明教授(第3)			
循環器内科	*1 栗原明日香医師 *2 堀江康人准教授 <small>【不整脈外来】</small>	石川まゆ子医師 中元隆明教授	石川まゆ子医師 中元隆明教授	杉村浩之准教授 安 隆明教授 <small>【即前科外系「心臓」外来】</small>	杉村浩之准教授 安 隆明教授	杉村浩之准教授 安 隆明教授	安 隆明教授 杉村浩之准教授 <small>【末梢動脈疾患外来】</small>	堀江康人准教授 石川まゆ子医師	堀江康人准教授 堀江康人准教授	浅田宏史医師(第1) 杉村浩之准教授(第2)、栗原明日香医師(第3)		
糖尿病・内分泌内科	伴場信之教授	伴場信之教授	中谷祐己講師 <small>【甲狀腺エコー外来】</small>	伴場信之教授	伴場信之教授	伴場信之教授	伴場信之教授	中谷祐己講師	中谷祐己講師	伴場信之教授(第2,4) 中谷祐己講師(第1,5)		
神経内科	渡邊由佳准教授	山本真也医師	山本真也医師	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	非常勤医師	山本真也医師	山本真也医師			
外科	非常勤医師	宮地和人教授	宮地和人教授	宮地和人教授	宮地和人教授	宮地和人教授	非常勤医師	小野寺真一講師	小野寺真一講師	久保 僚医師		
	長田伝重教授	長田伝重教授	長田伝重教授	矢野雄一郎講師	矢野雄一郎講師	矢野雄一郎講師	矢野雄一郎講師	長田伝重教授	長田伝重教授	矢野雄一郎講師		
整形外科	山本紘詞医師	中山健太郎医師 <small>☆異母兄弟医師 (ワックス外来)</small>	中山健太郎医師 <small>☆異母兄弟医師 (ワックス外来)</small>	司馬 洋医師	司馬 洋医師	司馬 洋医師	司馬 洋医師	山本紘詞医師	山本紘詞医師	司馬 洋医師/山本紘詞医師		
形成外科	鈴木彩子医師	高田悟朗医師	高田悟朗医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	高田悟朗医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師		
心臓・血管外科	緒方孝治講師 <small>(第4週のみ)</small>	高田悟朗医師	高田悟朗医師	高田悟朗医師	高田悟朗医師	高田悟朗医師	清水理業医師 ☆(予約外来)	高田悟朗医師	高田悟朗医師	高田悟朗医師		
皮膚科		権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師		
泌尿器科		権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師	権守 隆医師		
麻酔科	緑川由紀夫教授									緑川由紀夫教授		
禁煙外来		中元隆明教授										

トピック・備註(予約制)	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授
看護外来	フットケア 第2	フットケア 第4	フットケア 第1・3	ストーマ	ストーマ 第1・3	ストーマ	ストーマ	ストーマ	ストーマ	ストーマ	ストーマ

○受付時間：月曜日～土曜日(8:50～11:00) ※再診受付機が午前8時30分から稼働しております。(再来予約の方)  
 ○診療時間：月曜日～金曜日(9:00～12:00/13:00～16:30)、禁煙外来：毎週(月)13:30～16:30(事前予約制)の診療に変更  
 土曜日(9:00～12:30) ☆リウマチ外来：毎月第1火曜日(予約のみ)  
 ☆心臓・血管外科：木曜日午前については予約外来、月(第4)、水、金曜日については14:00～16:00(予約のみ)

\* 神経内科が平成26年4月1日から月曜日～金曜日診療となります。  
 \* 泌尿器科が平成26年4月1日から毎週木曜日午前(予約のみ)の診療となります。  
 \* 予約変更等のご連絡は、原則として前日(土曜、休診日を除く)の午後3時～4時までにご連絡ください。その他の時間帯はご連絡ください。  
 (内科受付0288-76-0620,外科受付0288-76-0622,整形外科受付0288-76-0623,リハビリテーション科受付0288-76-0627)  
 \* 診察医師が交代になる場合は、緊急時を指定される場合には、事前にお電話にてご連絡ください。  
 \* 患者様をご紹介くださる際は、緊急時を除き地域連携医療部へご連絡下さい。  
 \* 1. 予約外来 \* 2. 予約外来

地域連携医療部  
TEL:0288-76-1700(直通)  
(FAX兼用)

獨協医科大学日光医療センター  
〒321-2593  
栃木県日光市高徳632番地  
TEL 0288-76-1515 (代表)

## DMAT研修参加報告

医事課 高橋 良牙

平成27年2月2日～2月5日の4日間、日光医療センターチームの一員として、日本DMAT隊員養成研修に参加しました。DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略であり、「災害急性期に活動できる、機動力のある、専門のトレーニングを受けた医療チーム」のことです。研修内容は主に座学、実践シミュレーションなどで、自衛隊や消防、他の医療機関などの様々な職種と連携を取りながら素早く正確な行動をしていく必要があります、幅広い知識と行動力が必要だと感じました。

当センターは今後、災害拠点病院の指定を目指し体制を整えてまいります。私たち日光医療センターDMATは将来起こりうる災害において、地域をはじめ、災害医療に貢献できるよう努めてまいります。

## 旬を食べよう

### 春キャベツ

春キャベツは形が丸くて小さく、葉の巻き方が緩く、柔らかく、水分が多くて甘みがあるのが特徴です。3月から7月初めに出回ります。

キャベツはアブラナ科で、青汁の原料で知られるケールがルーツです。

葉が発達し、結球したものが現在のキャベツです。

ブロッコリーやカリフラワー、チンゲンサイもアブラナ科の仲間です。

#### 《成分》

ビタミン類、なかでも特徴的なのはビタミンUです。

ビタミンUは胃腸の調子を整える働きがあります。

他に美肌効果が期待できるビタミンCが豊富で、腸内環境を良好に保つ食物繊維も多く含まれます。



#### 《選び方》

- 全体に緑色が濃く弾力があり芯の切り口が小さいもの。
- 巻きが緩く軽めのもの。

#### 《美味しい食べ方》

- 湯葉との煮物
- 新じゃが、新玉ねぎとのグラタンやチーズ焼き
- 酢味噌、生姜醤油、海苔との和えもの
- 肉類、魚介類、卵、大豆製品と合わせた炒め物



春キャベツとたけのこのパスタ

## 病院への手紙にお答えいたします

～当センターの各所に設置してあります、ご意見箱に寄せられた  
患者様からのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

### ご意見・ご要望

- 身体障害者用駐車場について  
＜ 50歳 性別不詳 ＞  
身体障害者用駐車場に行政の患者輸送車  
が駐車している

### A お答えいたします

身体障害者用駐車場につきましては、限られたスペースの中で最大限確保しております。  
今般、行政の患者搬送車の運転手の方に、一般用駐車場をご利用  
いただくようお願いしました。  
身体障害者用駐車場をご利用の方には、大変ご不便をお掛けし申  
し訳ございませんでした。

### ご意見・ご要望

- 入院患者さまの食事メニュー表について  
＜ 年齢 性別不詳 ＞  
食事メニュー表の文字の大きさについて

### A お答えいたします

現在、お食事のメニュー表につきましては、1ヶ月分を1表にま  
とめて掲示しております。  
患者さまに、より多くの食材情報をお知らせする関係から、文字  
が小さく読みにくくなっておりました。  
今後は、情報量は変えることなく、文字を最大限に大きくしたメ  
ニュー表を掲示させていただきます。

### 当センターと一緒に働いてみませんか？

## 平成28年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで  
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※平成27年度採用についても随時対応いたします。

### 編集後記

新芽、新年度、新企画…心地良い緊張感に包まれる「新しい」季節となりました。自らの新人だった時代を振り返り、「初心忘るべからず」と世阿弥の言葉が思い出されます。当院は進化を続け、間もなく10周年を迎えるまでになりました。常に新しい医療サービスの提供に努め、この度19年ぶりと言われる、県内10施設目の災害拠点病院への指定に向けて準備をとり進めております。地域連携医療サービスにも力を入れておりますので、まだまだ知られざる観光スポットに溢れたこの地には是非安心してお越し頂き、鬼怒川の美しい自然に浸って頂きたいと思っております。(M.F)

### 日光医療センター通信 ～いろは～ 第25号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日／平成27年4月00日

編集・発行／獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>

または、右記のQRコードを読み取り  
アクセスして下さい。

